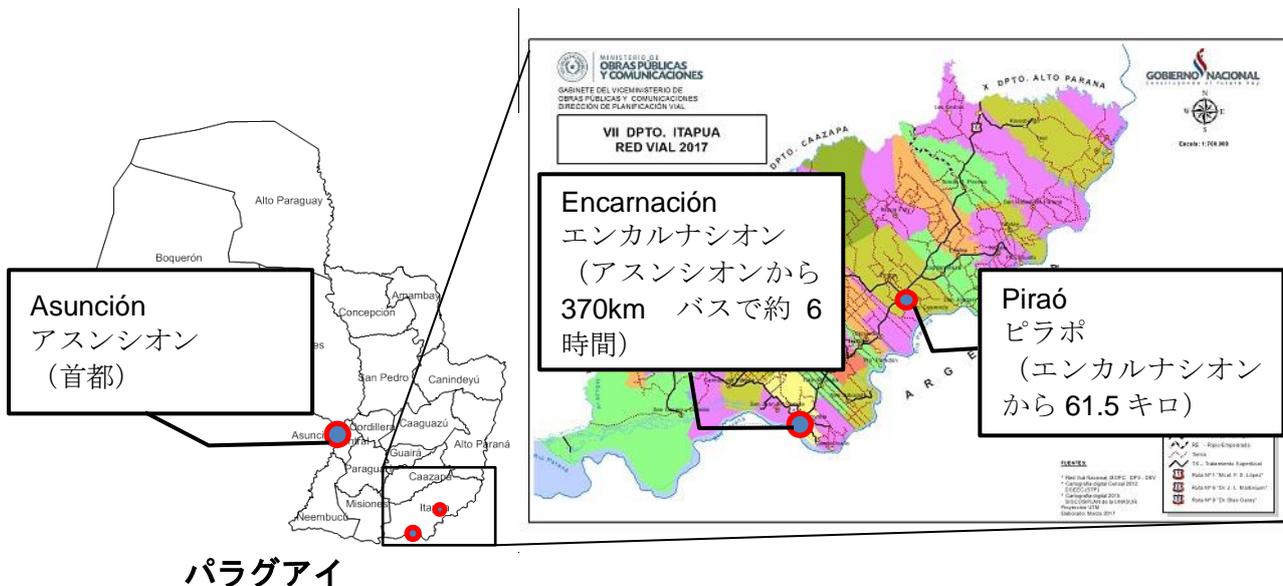


農業機械化センター (CEMA)

JICA パラグアイ事務所

1. 概要

住所 Ruta 6ta, Km 61.5, Distrito de Pirapó, Departamento de Itapúa



管轄省庁：イタプア県

活動：

3年制の農業機械専門の技術訓練学校。農業機械操作・整備に関する授業・実習の機会を提供し、同分野で有能な技術者を育成する。

2. 現状/歴史

現在、農業機械化センター (CEMA : Centro de Mecanización Agrícola) は、イタプア県が管轄、農牧省が補助金を交付している。

1979年、日本の支援で創設され、実際の教育機関としての活動は、1982年10月に開始された。教育期間は3年間で農業機械に関する基礎知識や実習等を学習する。1, 2年生は、構内にある寮で生活し、最終学年である3年生になるとインターンとして国内企業や農場で職業体験を実践するカリキュラムとなっている。また、同校は兵役制度も兼ねている。

現在の職員数は約20名、うち教員は11名 (学士3名)、管理職4名 (学士4名)、清掃給食係4名、兵役係1名の組織である。

学生は、各学年70名程度、全体3学年で200名程度である。



正面玄関



裏口（運転練習場側入口）



正面玄関前から北方面の道路



本館



現在の教室風景（2017年）



運転練習用トラクター
（1982年3月に供与した当時の機材を使用中）



現在の実習風景（2017年）



運転練習場



体育館



移動教室車

3. 過去の協力実績

（1）「南部パラグアイ農林業総合開発センター（第二次）」プロジェクト（無償資金協力）の一部として、施設と機材を供与

- ① 交換公文の署名：1980年6月
- ② 供与金額：15億円



建設時銘板 プロジェクト：日本設計事務所（現：(株)日本設計）
建設：戸田建設(株)

住友商事(株)
ECCA S. A
1982年3月

(2) 「パラグアイ農林業開発計画」プロジェクト（技術協力）の一部として、農業機械化センターを強化

- ① 協力期間 1979年3月～1988年3月、1990年10月～1992年9月
(実施期間：1979.3～1984.3、延長期間：1984.3～1986.3、1986.3～1987.3、フォローアップ期間：1986.3～1988.3、アフターケア期間：1990.10～1992.9)
- ② 目的：進んだ農業機械化に対応するオペレーター及び機械工の養成、耕作及び開墾機械の操作に関する技術訓練、機械及び器具の修理、維持に関する技術訓練等を目的とする。
- ③ 専門家派遣概要

分野	派遣期間	備考
リーダー	1980.11-1982.10 1982.10-1984.6	
機械整備	1981.1-1984.3 1984.3-1986.3 1984.3-1987.3	
重機械操作	1982.2-1984.3	
機械操作	1984.4-1986.4 1986.4-1988.4	
農業機械	1982.2-1983.5 1991.1-1993.1	
農業機械化	1984.4-1988.4	

(3) 上記以外の協力（ボランティアの派遣）

分野	派遣期間	備考
農業機械	1983.1-1986.1 1998.10-2000.10 2005.4-2007.4 2015.10-現在派遣中	

CEMA の Facebook ページ :

<https://es-la.facebook.com/CEMA-PIRAP0-centro-de-mecanizacion-agricola-144871012279554/>

以上